



図書館だより



一草木も人も、春待つ心

NO.10

2014/02/01

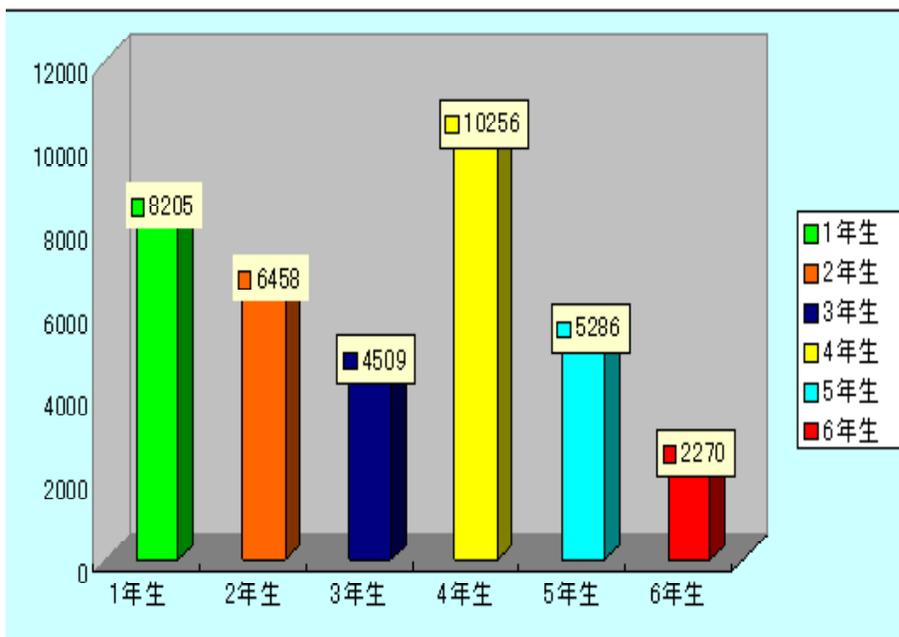
ノートルダム学院小学校図書館

2月4日は立春、冬がおわって春の季節に入る時。山形県のある地方では「^{かん}寒ばなれ」、^{ひだ}飛騨の白川地方では、「節替（せつがわり）」とも言うそうです。まだまだきびしい寒さが続きますが、^{きさつ}これからは、日は少しずつ長くなり、^{こうもい}草木も芽ぶき始めて「春立つ」季節になります。二月の別名の「^{ゆまげ}如月」「^{うまげ}生更ぎ」とも書き、草木が更生するという意味があるそうです。ほかにも小草生、梅見月、初花月、雪消月という呼び方があるそうですが、どれも暖かい春を待つ心があらわれていますね。

うめ一輪ーりんほどのあたたかさ（嵐雪）

校庭や公園の^{らくようじゆ}落葉樹のようすを立ち止まって見てみましょう。葉を落として寒そうに見える木の枝ですが、どの木もぽつぽつと、小さな冬芽をつけています。冬芽の中には、葉や花の芽がぎっしりつまっています。真赤な色でつんと上を向いているナナカマド、とげだらけのタラノキ、表面がねばねばしているトチなど、冬芽の形は、木の種類によって違うので、芽吹いたあとよりも何の木か分かりやすいのです。冬芽の下には、落葉した葉柄がついていたあとがみられ、まるで動物の顔のように見えます。ユニークな冬芽の顔をクローズアップした写真絵本『ふゆめがっしょうだん』（福音館書店）、『公園でできる身近な自然観察④冬の公園』（文研出版）、『冬をたのしむ』（海野和夫・新日本出版社）を見てみましょう。みんな春を待つ”いい顔”をしていますよ。

学年別貸し出し数 2013年4月～2014年1月



学年別個人別貸し出しベスト3

2013年4月～2014年1月

- 1年 R2高田 289
- R2宮川 189
- R2後藤 189
- 2年 R8米川 357
- R8益永 229
- R5水野 167
- R5土肥 167
- 3年 R10吉田 176
- R11吉田 173
- R11中尾 164
- 4年 R13津田 490
- R13中井 287
- R15九里 257
- 5年 R19川嶋 445
- R18中野 252
- R19千振 247
- 6年 R23吉田 264
- R23藤田 170
- R21鳥山 96

第59回青少年読書感想文 全国コンクール

5年生竹内彩華さんの作品が
京都府知事賞受賞!!
この賞は京都府で最高の賞です。

《6年生のみなさんへ》

この6年間みなさんにとって
図書館はどんなところだったでしょうか
図書^の返却を2月中に完了するように
しましょう
”^た発つ鳥あとをにごさず”